

- 平成4年度決算認定から……………2~4
- 秋季火防演習……………5
- 交通安全球技大会……………6
- 川柳北緯41° / 傘松川柳同好会から……………7
- 保健コーナー……………8
- 広域事務組合ブルーロードから……………9
- お知らせ……………10
- 行事予定 / みつけた……………11
- けっぱる蓬田人 / 戸籍の窓口……………12

広報

よもぎた



ああ……凶作。ワラにもすがりたい！

チャップリンの

靴が片方の秋の海

磯貝碧蹄観

今年、稲は皆無作となった。種籾も残せない。もちろん食べる分もない。米を作る人が米を買わなければいけないとは、実に悲しい。

天明八年、菅江真澄すげまことという人がわが村を歩いて、ある集落を「卯辰の飢饉に、魚をして魚さえずなく、犬を料理したり馬を殺して食ったころ、住む人も死にたえ、家々も焼けてしまったのだ」と書いている。天明の飢饉では、全国で九十万人の人々がなくなった。すさまじい光景が目に見えかねてくる。

今は流通機構や保険が発達したので、往時のように村が消失するとは考えられない。しかし、この村でかつてそのようなことがあったと思うと背筋が寒くなる。

歴史は、何を教えているのだろうか。

11月

1993

●平成四年度決算認定される。

普通会計歳出

締めて二十七億九千二百二十六万円

平成四年度決算は、九月定例村議会に提出され、九月十日認定されました。

普通会計（一般会計と学校給食センター特別会計）において、ふれあいセンター（よも

ぎ温泉）建設事業があります。みなさんが納めた村税や地方交付税、国・県支出金などが、どのくらい入り、どのような形で支出されているかを

まとめました。※自治省調査資料に基づき作成していますので、実際の予算科目とは相違しています。



◆目的別に見た歳出

- ・保育所……………70,451千円
- ・児童館……………6,553千円

◇衛生費
572,942千円(20.5%)

- ・ふれあいセンター建設……449,226千円
- ・地区環境整備組合負担金……57,286千円
- ・老人保健事業……………17,475千円

◇労働費
486千円(0.0%)

- ・労働者協議会補助金……………135千円

◇農林水産業費
230,303千円(8.2%)

- ・団体営農道整備……20,197千円
- ・小規模排水……………11,497千円

◇議会費
63,718千円(2.3%)

- ・議員報酬……………35,324千円
- ・議員活動費……………7,028千円

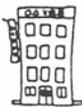
◇総務費
582,652千円(20.9%)

- ・積立金(財調・減債等)……264,371千円
- ・交通安全対策……………2,984千円
- ・公立大学負担金……………2,092千円
- ・参議院議員選挙……………2,108千円

◇民生費
224,851千円(8.1%)

- ・地域福祉基金積立……44,000千円
- ・老人福祉費……………39,078千円

村民1人からいただいた村税(総額42,963円)の状況

村民税	法人税	固定資産税	軽自動車税	村たばこ税	※平成5年3月31日 現在人口 3,991人で算出
					
15,680円	1,231円	21,134円	1,033円	3,885円	

● 入ったお金

依存財源			自主財源		
科目	金額	構成比	科目	金額	構成比
地方譲与税	千円 46,369	% 1.6	地方税	千円 171,464	% 6.0
利子割交付金	5,107	0.2	分担金及び負担金	4,814	0.2
自動車取得税交付金	24,503	0.9	使用料	37,657	1.3
地方交付金	1,366,622	48.0	手数料	1,641	0.1
交通安全対策特別交付金	1,822	0.1	財産収入	33,683	1.2
国庫支出金	133,866	4.7	繰入金	259,346	9.1
県支出金	105,553	3.7	繰越金	20,271	0.7
村債	596,600	20.9	諸収入	38,464	1.3
小計	2,280,442	80.1	小計	567,340	19.9
歳入合計 2,847,782千円					

● 出たお金

区分	決算額	構成比(%)	前年度と比較増減(%)
義務的経費	896,301	32.0	7.7
人件費	679,947	24.3	6.6
扶助費	28,755	1.0	25.3
公債	187,577	6.7	9.3
投資的経費	1,085,264	38.9	51.8
1 普通建設事業費	982,077	35.2	58.1
補助事業	163,449	5.9	△17.1
単独事業	818,628	29.3	93.0
2 災害復旧事業費	103,187	3.7	9.8
補助事業	98,268	3.5	13.0
単独事業	4,919	0.2	△29.7
その他	810,691	29.1	2.3
物件費	221,234	7.9	16.5
維持補修費	27,378	1.0	0.7
補助費等	174,739	6.3	8.8
積立金	311,798	11.2	11.4
投資出資貸付金	3,256	0.1	△92.7
繰出金	72,084	2.6	△16.8
合計	2,792,256	100	19.3

- ・小学校費……………48,973千円
- ・中学校費……………24,496千円
- ・幼稚園費……………18,161千円
- ・玉松台スポーツガーデン…116,668千円
- ・教員住宅建設償還金…8,465千円
- ・学校給食費……………55,547千円

- ・中沢川改修……………10,313千円
- ・玉松カントリーパーク…89,816千円
- ・玉松地区排水路工事…43,143千円
- ・村道維持補修……………10,639千円
- ・板木沢川排水工事…8,465千円
- ・除排雪経費……………11,031千円
- ・公営住宅改修工事…7,926千円

- ・かんがい排水……………9,660千円
- ・農免農道(蓬田)………13,647千円
- ・中沢・長科農道新設…9,106千円
- ・牛購入……………2,552千円
- ・牧場避難舎改修………2,058千円
- ・分収造林事業……………9,512千円
- ・漁港改修(蓬田・瀬辺地)………14,013千円

◇ 災害復旧費

103,187千円(3.7%)

- ・農地等災害復旧………34,955千円
- ・河川災害復旧………68,232千円

◇ 消 防 費

86,982千円(3.1%)

- ・ポンプ自動車購入…14,526千円
- ・コミュニティセンター建設…7,713千円
- ・広域消防負担金………45,539千円

◇ 商 工 費

9,882千円(0.4%)

- ・商工会補助……………800千円
- ・村おこし補助……………300千円
- ・観光協会補助……………2,200千円

◇ 公 債 費

187,599千円(6.7%)

- ・元金……………107,930千円
- ・利子……………77,679千円
- ・一時借入金利子………1,990千円

◇ 教 育 費

404,588千円(14.5%)

- ・スクールバス購入…13,549千円

◇ 土 木 費

325,066千円(11.6%)

- ・小学校線道路改良…61,574千円

村民1人に使われた村のお金(総額699,638円)の状況

総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	土木費	教育費	公債費	議会費	15,965円
							労働費	122円
145,991円	56,340円	143,559円	57,706円	81,450円	101,375円	47,005円	商工費	2,476円
							消防費	21,794円
							災害復旧費	25,855円

○国民健康保険特別会計

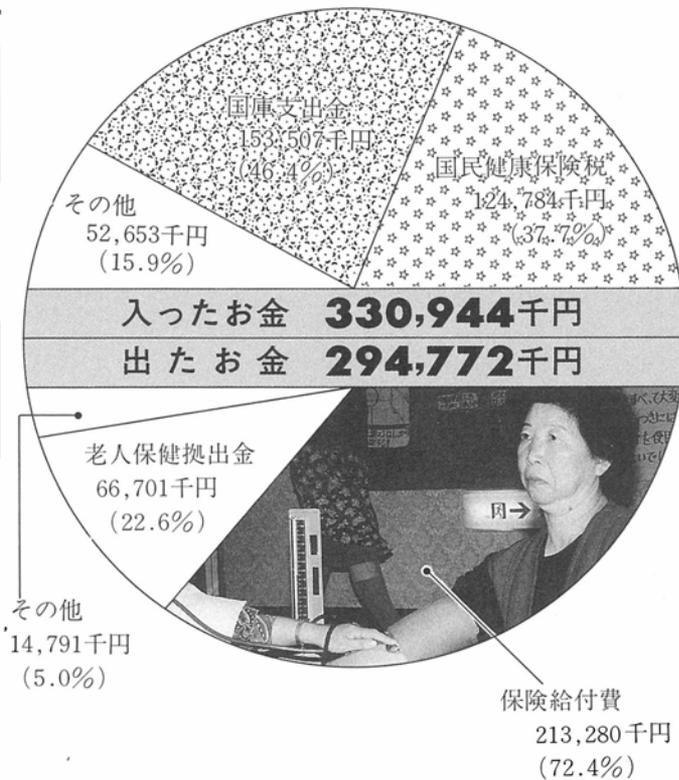
加入者からいただいた国保税	
一世帯当たり	199,974円
一人当たり	68,225円

・平成4年度
国保税収入額
124,511千円

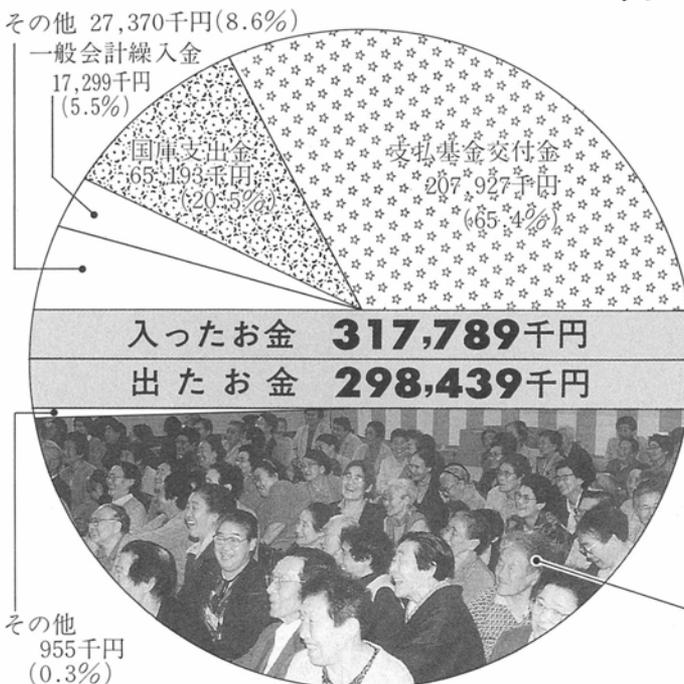
加入者に支払った医療費	
一世帯当たり	291,951円
一人当たり	92,853円

・平成4年度
医療費支払額
213,280千円

※平成5年3月31日現在
・加入世帯 624世帯
・加入者数 1,829人



老人保健特別会計 収支決算



○老人保健特別会計

医療受給者に支払った医療費	
一人当たり	604,642円

・平成4年度
医療費支払額
297,484千円
※平成5年3月31日現在
・加入者数 492人

火災が発生したら！

秋季火防演習

十月十日(日)村消防団(吉田初男団長)の秋季火防演習が「高根八幡宮付近で火災発生」の想定で実施されました。

訓練は、午前八時三十分のサイレンを合図に各分団からポンプ自動車が出動しました。

付近の住民が見守るなか団員はポンプ車を誘導、ホース管の中継から放水、伝令と、

実践ながらに行われました。日頃からの訓練が遺憾なく発揮され、火災は短時間で鎮火しました。

演習終了後は蓬田観光バス車庫前で検閲、分列行進が行われ、その後、高田重義副団長が「誘導、伝達は迅速的であり、機械も良く整備され、

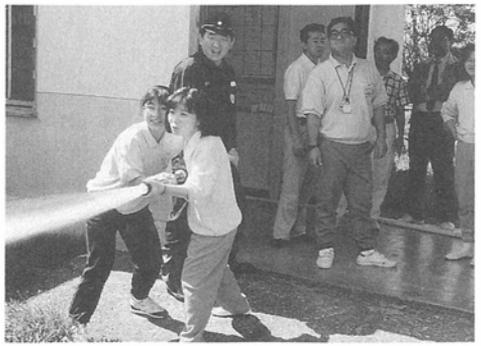
また分列行進も立派であった、よって今日の訓練は良好である」と講評を述べました。続いて、吉田初男団長より「秋の火災予防週間が始まるが、今年は何れもない冷害、出稼の期間中の火災予防を呼び掛けながら分団を巡回し有事

の際は訓練を生かしの確に対処してほしい」と訓示がありました。続いて八戸良次郎村長が「今年度コミュニティ消防センターを長科、阿弥陀川、郷沢に建設します。歴史の発展を祈念します」と。また、蟹田警察署長(代理)が「災害は忘れたころにやってくると言いますが、本日の見事な訓練を拝見し安心しました」と挨拶を述べました。

その後、ポンプ車八台が中沢から高根までパレードを行い秋の火災予防を呼び掛けました。



小学校でも避難訓練！



九月二十一日(火)蓬田小学校では今年度二回目の避難訓練を行いました。

訓練は「休息時、家庭科室より火災が発生し、延焼および

校内に有毒ガスが充満のおそれあり」の想定で、午前十時二十分、「火災発生」の校内放送で児童は、

白と赤の発煙筒の煙りが立ち込める中、ハンカチで口を押さえ、「おはし」の三原則(おさない、はしらない、しゃべらない)を守り落ち着いて避難しました。グラウンドに集合した児童はすぐに人数を確認し中島聡校長に報告しました。訓練終了後は、中村修先生から火災体験の話と、東一雄教頭から、訓練の講評があり

ました。この後、蟹田消防署員が立ち会う中、各先生が消化器を使った模擬消火活動と、校舎内消火栓を使った放水の訓練を行いました。





自転車競技大会で優勝!

九月二十八日(火)、蟹田町コミュニティセンター駐車場において、第五回高齢者自転車競技会が開催され、蓬田村からは、三団体、十名が参加し、団体の部で優勝、個人の部二位と三位に入賞するなど大健闘しました。

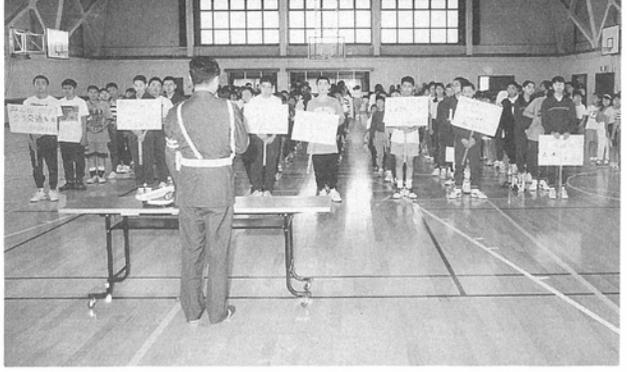
主催の蟹田地区交通安全協会は、自転車競技を通じて、高齢者の交通安全知識の向上と交通安全思想の高揚を図り、正しい交通ルールと交通マナー

九月二十八日(火)、蟹田町コミュニティセンター駐車場において、第五回高齢者自転車競技会が開催され、蓬田村からは、三団体、十名が参加し、団体の部で優勝、個人の部二位と三位に入賞するなど大健闘しました。

結果は、団体の部で参加した中沢Bチーム(三上雄一さん、坂本毅さん、藤田賢三郎さん)がみごと優勝、個人の



(中沢)さんが入賞しました。



健康な身体と交通安全

村子ども会交通安全球技大会

九月十九日(日)蓬田村子ども会連合会(会長吉崎貴宏)主催の交通安全球技大会が蓬田村農業者トレーニングセンターで開催されました。

当日は約二百五十名の子どもたちと育成者が参加し蟹田警察署の交通安全講話の後、各地域対抗で熱戦が繰り広げられました。

- ドッチボール
一位、広瀬
二位、郷沢
三位、中沢
- ミニソフトバレーボール
一位、阿弥陀川
二位、瀬辺地
三位、蓬田
- バスケットボール
一位、阿弥陀川
- 交通安全講話
交通安全標語
◎みんなで守ろう交通安全ルール
◎自転車の二人のりはやめよう
◎交通ルールみんなですべて事故なくせ
◎交通安全を守って安全運転
◎老人と子供を交通事故から守ろう
◎自転車もルールを守って安全運転
◎とびだすな止まって確認
◎あわてず急がず安全運転



よもぎ温泉に 花寄贈!

十月八日(金)、青森銀行白戸良一蟹田支店長が、よもぎ温泉を訪れ花二十鉢を寄贈しました。

この花は、青森銀行創立五十周年を記念し、県内の各支店が「花いっぱい運動」として取り組んだもので、贈られた野ポタン、木立ベゴニア、ピターソン、バラ、浜菊他数種類の花は、さっそくロビーのカウンターに飾られ、訪れるお客様の目を和ませています。

楽しい仲間たち

傘松川柳同好会

本誌川柳北緯四十一度や東奥日報夕刊世相川柳、村民祭川柳コーナーでおなじみ傘松川柳同好会の例会の様子を取材しました。

設立について佐々木順一会長は、「平成元年に前会長の工藤正一（中沢、雅号、帆一）さんの、帆一百選句集完成を祝う席で、ただ酒を飲んでいただけではおもしろくない、



も二十七名と膨れ上がり、村内はもとより、遠くは平館村から高坂勝子（雅号、花田咲子）さん、福井文明さんも会員として毎回参加しています。

会場の中沢老人の家には、午後七時からの例会開始にもかかわらず三十分前には、殆どの会員が集合し、例会を楽しみにしているのが分かります。

はたして川柳の例会とはどのようなにして行うのか。句を作ってそれから何をやるのだろうか。そんな疑問と興味を抱いていました。まずは：

宿題がある
宿題は「駅」と「耳」で、会員は前もって事務局に提出し、作品は会場の壁に模造紙に書かれ貼られている。でも

作者名は書かれていない。会場に入ると誰もが作品に注目している。

会場で一句作る

今日の句題は「月」で会場に来て言い渡される。壁に貼られている宿題の作品を觀賞し、談笑しながらも十五分もすると、一句を作り提出する。さすがに作り慣れている。

句の觀賞

今日の句題「月」の作品が壁に貼られると、事務局が会費で準備した飲み物や、会員が持ち寄った食べ物や、テーブル上に広げられる。作者名が入っていない作品を觀賞しながら、あの句がいい、その句は誰々の句でないか？（例えば、兵隊が入っているから何



屈託のない笑顔

々さんだとか、酒について詠んでいるから誰々さんとかいうふうには。

優秀作品を選ぶ

各自には作品ごとに二票の持票があり、自分以外の作品に投票する。やがて各作品に得票数が記入されていく。さすがにみんなが緊張した面持ちで見つめている。優秀作品が決まると「やっぱりあの句、選ばれたな」等の感嘆の声。まだ作者は分からない。

いよいよ、作品に作者名が記入されていく。予想している人と違うと会場から驚きや、歓声が沸き上がる。

この日の優秀賞に選ばれたのは、坂本勝子さん、次点に工藤俊久さん。二人には会員の沢田年榮さんが丹精こめて作り上げた色紙大の額縁が贈られました。

講評と指導

前会長の工藤正一さんが作品一つ一つに講評を加えながら、字句や漢字が本来持っている意味などを説明していく。すると、作者が表現したかった事と、読み手側のとらえ方に隔たりが出てきたりする。

この場合は、作者側のミスということでみんなで適切な言葉を考えてみる。というふうに進められました。

「いろんな事（趣味）をやっているが、川柳作ってこうして集まるのが一番いいんだ、紙と書くものあればいいもの」と坂本増吉さんが笑顔で話しました。

とにかく大きな笑い声が絶えない。どうしてこんなに、みんなが、世代を越えて楽しめるのだろうか。川柳は人を表現しているからか。表現することによって会員それぞれの考え方や歩んで来た道、喜怒哀楽、社会問題、嫁姑、親子、いろんな事で心の疎通が図られるか。

傘松川柳同好会は屈託のない心の通った仲間集いで一度尋ねて見ると、見えていくかですか。



北緯41°

- ・ 騒音を
- ・ 駅弁の
- ・ 花鉢が
- ・ ちっちゃな駅
- ・ 残して止まらぬ
- ・ 味を楽しむ
- ・ 水ほしがってる
- ・ 大きな夢抱く
- ・ 無人駅
- ・ 旅に発つ
- ・ 無人駅
- ・ 子等が発つ

- 久子
- 重彦
- 節子
- 藤久
- ・ オドは駅
- ・ それぞれの
- ・ 急ぐ足
- ・ 米取れず

- 娘飛行場
- 喜越哀楽を
- 駅は暮らしの
- 父が旅立つ
- 見送られ
- 見てる駅
- 文差点
- 村の駅
- いつ子
- 絹枝
- お富
- 勝子

初めて見た
ショックを受けた
草刈り機械で稲刈りとは

寒冷地の“強敵”脳卒中

No. 1

**脳卒中は
“寝たきり”や“ボケ”の
最大の原因**

頭の中の血管が破れたり、つまったりして起こる病気が脳卒中です。以前は、早死にする病気として恐れられていましたが、最近では、若い人を中心に脳卒中で亡くなる人が急激に減ってきています。

ところが、脳卒中にかかっても、死ななにかわりに、「寝たきり」になったり、「ボケ」てしまったりする人がふえてきています。日本では寝たきりやボケの原因で最も多いのが脳卒中です。蓬田村の場合もそのとおりとなっています。脳卒中の多い蓬田村では、寝たきりやボケを防ぐためにも、若い頃から、好ましい生活習慣を続けることによって脳卒中を減らしていくことがとても大事なこととなっていきます。死ぬ人が減ってきたとはいえ、脳卒中は、まだまだ油断できない病気なのです。

寒さが 血圧の上昇を招く

この脳卒中は、血圧の高い人がかかりやすい病気であることはよく知られていますが、この頃は血圧が高くなって、脳の血管が詰まる脳梗塞型の脳卒中も増えています。偏った食事や重労働等のいろいろな事が原因でおこってきます。ただ、一般的に血圧の高い人は脳卒中にかか

る危険性が高いため、より注意が必要です。

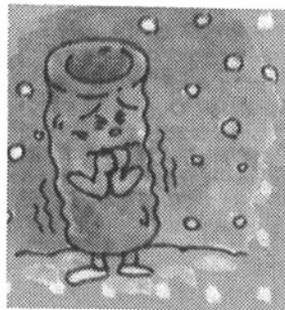
血圧は季節によって変化します。春から夏にかけて下がります。秋から冬にかけて上がってくるのです。暖かいとからだの血管は広がって太くなり、寒いと縮んで細くなります。血管が細くなると血液が流れにくくなるので、血液をからだ全体にいきわたらせるためには大きな力が必要になってきます。このようにして、寒くなると血圧は上がってくるのです。

寒さによる血圧の上がり方をもう少し詳しくみると、若い人よりもお年寄りの方が大きくなっています。そして血圧が正常の人よりも、血圧の高い人の方が大きいのです。

脳卒中は 寒い地方に おこりやすい

血圧が高いと脳卒中にかかりやすい。寒くなると血圧が高くなる。このようなことが影響して、脳卒中は冬の寒い時期に多く発生します。また、暖かい地方よりも寒い地方に多くみられます。そして、同じ寒い地方でも、海に面しているところより山間部の方が多くなっています。太平洋側でも日本海側でもそうですが、

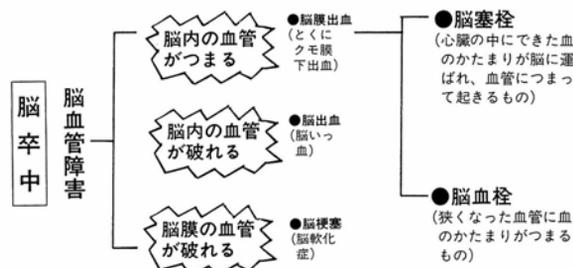
山あいのところよりは、海に近いところの方が気候が温暖なためでしょう。冬の気温が低くて寒い、雪が多く根雪の期間が長い、日照時間が短いといったところでは脳卒中が多いのです。



なぜ北海道では 脳卒中が 少ないのか

ところが、日本では最も寒いはずの北海道では脳卒中が少ないのです。それは、暖房の方法や家の中を暖かく保つための工夫がされていて、冬を暖かく過ごすことができます。また、最近では、北海道以外の寒い地方でも人口の多い都市部を中心に冬の脳卒中が減ってきています。その結果、脳卒中の季節による差が少なくなってきているのです。こ

脳卒中のおもな種類



れも、暖房設備がよくなってきたこと、住宅の保温がよくなってきたことなどが影響していると考えられています。長生きするため、「寝たきり」にならないため、そして「ボケ」ないために、冬を暖かく暮らす工夫がいかに大切かがおわかりいただけただでしょうか？お年寄りのいる家庭、血圧の高い人がいる家庭では、暖かく暮らす工夫がとくに大切です。

▼来月号は、脳卒中にかからないための、「10ヶ条」をのせたいと思います。

みんなで出そう“自慢の漬物”

第2回あなたのまちの漬物大集合！

応募資格……ブルーロード地域（青森市と東津軽郡6町村）に住んでいる人、又はグループ。

出品点数……制限はありません。

出品量……1品目当たり1kg～2kgくらいが目安です。

材料・作り方……特に制限はありません。

応募方法……応募1品目ごとに出品票1枚が必要です。出品票は下記応募先へ郵送または持参して下さい。

なお、応募作品は、原則的に審査当日、会場への持ち込みになります。

※出品票は、後日回覧します。

応募締切……平成5年12月10日(金)まで。

問合せ・応募先……青森地域広域事務組合 広域振興室
地域振興係「青森市役所内」

☎0177（34）1111内線532

・蓬田村役場 企画課

☎0174（27）2111内線237

日時……平成6年1月16日(日)

審査会場……青森市文化会館4階中会議室他

賞……最優秀賞（伝来・新作）、奨励賞他

その他……当日、同会場において各種の漬物イベントが開催されますので、是非、一般見学の方々のご参加をお待ちしております。

あなたの漬物を商品に！

昨年に引き続き、あなたの漬物を募集します。伝来的な漬物、新作の漬物の二部門で「これぞ漬物」という自慢の味を出品してみませんか。選ばれた優秀作品は、「地域の味」としてブルーロードが商品化を目指します。



この村に来て

4

細谷 慶子(蓬田)さん

(夫・忠正さん)



◇ご出身と当時のお仕事は

青森市で育ち高校卒業後は、市内の美容院で美容師をしていました。

◇二人の出会い

行きつけの喫茶店で運動会とかあってグループ交際みたいな感じで知り合いました。

◇楽しみは

まだ先の事ですが子供と一緒にキャンプとか旅行がしたいですね。

◇蓬田村は

私が育った桜川も市内から離れていたから距離的に変わらないと思っていましたが、

◇スポーツは

中学校はバレーボール部、高校でもバレーボールが好きでマネージャーを努めました。

◇熱中していること

熱中というか何というか子育てに無我夢中(正孝・慶子ちゃん満五カ月は双子ちゃん)です。

いざ来てみると農村のせいか、距離以上に「田舎に来たなあ」と感じました。暮らしてみると隣近所が協力的で安心できるし、市内で苦労した冬の雪かきも捨てる場所がいっぱいあるし、どの家も屋敷が広いから多少声を張り上げても子供が夜泣きしてもそんなに迷惑かけませんから住みやすいですね。

◇村に要望は

車の運転ができないからかも知れませんが、近くに小さくていいから子供が遊べる砂場やブランコのある緑に囲まれた公園があればと思います。あと、買い物しやすいスーパーとか本屋さん。

◇最後に

結婚八年目にして子供が生まれたことで、新たに村民になった気分です。子供を通じていろんな方々とお付き合いが始まると楽しみにしています。まだ若いし家庭においても仕事(美容院を自宅経営)においても頑張りますので皆さんよろしく。

みつけた 68



高根地区の手前左手に稲葉幸次郎(高根)さんが炭焼きの釜を製作中です。現在は青森市に釜を持ち生産していますが老朽化してきたために、ここに作るもので、来年春に完成する予定です。年間十五キロ入れの炭を五百箱ぐらい作るそうです。

11月行事予定表

日	曜	行	事	担
29	月	書道教室	13時	中央公民館
24	水	陶芸教室	9時30分	中央公民館
22	月	書道教室	13時	中央公民館
20	土	パッチワーク教室	18時30分	中央公民館
17	水	陶芸教室	9時30分	中央公民館
15	月	母親教室	9時(中央公民館)	民生課
10	水	書道教室	13時	中央公民館
9	火	介護教室	9時30分	中央公民館
8	月	一才六カ月、三才児検診	12時30分(中公)	民生課
6	土	書道教室	13時	中央公民館
3	水	パッチワーク教室	18時30分	中央公民館
1	月	村民祭(トレセン、中体育館)	7日まで	村民祭実委

けっばる蓬田人 ⑥2

あなごころをこころに

扶洋薬品(株)青山サロン

溝江冬子さん



過日、中学時代のお友達から「広報よもぎた」を知り、見せて頂きました。嬉しくなりこれから先も村の様子を知りたいので、村役場に毎月送って頂けないものか、とお願ひしたところ、来ました来ましたゴッソリと村勢要覧まで、ワー／ハマナス、なつかしいへーえ村は百才過ぎたのね。なになに牧場が、スキ一場がエツ温泉まであるの、今度帰った時は

よもぎ温泉も行って見よう：等と楽しく読ませて頂いて居たら、なんと「けっばる蓬田人」原稿依頼、とんでもない、私には人にお話するような経歴も肩書ありません。日々暮して来ただけ、ことわろう。でも原稿集めにご苦勞なさって居る様子、読みたいけど書きたくない、ではこのコーナーが……。でもねー。悩みました。

私の仕事はホームエステ(自宅で正しい美容法ができる)の普及と定着を目指す事です。女性なら誰もが願う美しくありたいきれいに年を重ねたい。きれいな肌が維持できて、やさしい笑いジワのおばあちゃんになれたなら年を取る事もこわくないのでは、そんな女性が一人数でも多くなる事の手伝いをさせて頂いています。これは私の一生の仕事であり夢であり生きがいとなる事でしょう。父の最後の言葉「女はいくつになってもきれいで居ろよ」。その頃は大きくても暮して来ましたが今にもせず暮して来ましたが今ははつきりとわかります。この道で良い事が。繁栄して行く村を心の支え

メモ

▶現住所/〒144東京都大田区南蒲田3-10-13/パークレジデンス301/☎03-3743-0713▶生年月日/昭和25年1月3日/
▶出身/瀬辺地/(故)小野司氏二女▶家族構成/夫・修一・長女・るみ・長男・隼▶好きなもの/読書▶勤務先扶洋薬品(株)青山サロン

戸籍の窓 □



人口と世帯数 (9月30日現在)

総人口3,955人
男 1,896人
女 2,059人
世帯数1,054世帯
9月受付分

おくやみ申し上げます

倉谷トミノ (阿弥陀川 81歳)

編集後記

八月号から編集後記を書けませんでした。何故なら三カ月続けて、「訂正します」「お詫びします」の欄に化けてしまったのです。

十月の初め、下北に行く機会があり、その先々でのこと「米が買えない」、「米がない」、「青森市まで行って買って来た」。下北、三八上北地方の米事情は深刻だなあ、と実感し帰路に着いた。我が家に着いたら家内が「お父さん米買らいね、米

屋さんから断われた、どうするー！興奮ぎみに言った。いよいよ来たか

「大丈夫だね、役場に精米所の人はるはんで」と私。次の日、役場の精米所に人に話したら、「売る米がまったくないの」と断られた。お金はあるのに買えない(金はある、初めて使うことば)。天候異常は仕方ないが、米確保はどうにかなるのではい？

村は今年皆無作。こんな時こそ身を引き締めて、そして無駄のない新生活運動をみんなで推進しましょう！